

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

株式会社 サムエンタープライズ
〒162-0045 東京都新宿区馬場下町14番地 翔ビル2F
担当 TEL 03-3203-1251
FAX 03-3203-1256
緊急連絡 同上
制定 平成28年11月11日
改定 平成29年 3月20日
SDS整理番号 01601101

製品等のコード : 0350-5350、0360-5380、0360-5360
製品等の名称 : 刀泉水
推奨用途 : 刀の手油・汗 拭い液

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に関する有害性

急性毒性(経口) : 区分外
皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分外
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) : 区分外
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) : 区分外

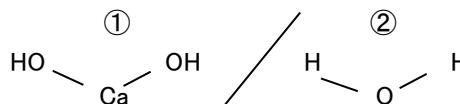
環境に関する有害性

水生環境急性有害性 : 区分外

絵表示又はシンボル : 該当なし

注意喚起語 : 該当なし

危険有害性情報 : 該当なし



注意書き

【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

【緊急処置】

眼に入った場合:水で15分以上注意深く洗うこと。

眼刺激が持続する時は、医師の手当を受けること。

【保管】

直射日光を避け、容器を密封して冷暗所に保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に常務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に関する有害性、環境に関する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」または「分類できない」である。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物(水酸化カルシウムの水溶液)
化学名 : 石灰水
(別名)水酸化カルシウム水溶液
(英名)Calcium Hydroxide Solution

成分及び含有量	:	①水酸化カルシウム、	約0.3w/v%
		②水	残部(約99.7w/v%)
化学式又は構造式	:	①Ca(OH)2	②H2O
		①、②の構造式は1ページ参照	
分子量	:	①74.09	②18.02
官報公示整理番号	化審法	①(1)-181	②設定されていない
	安衛法	①公表化学物質	②設定されていない
CAS No	:	①1315-62-0	②7732-18-5
EC No	:	①215-137-3	②231-791-2
危険有害成分	:	特になし	

4. 応急措置

目に入った場合	:	目に入った場合:水で15分以上注意深く洗うこと。 眼刺激が持続する時は、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	:	口をすすぎ、うがいをする。 水を飲んで体内で薄める。 気分が悪い時は、医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	:	本品は不燃性である。 本品の周辺で火災が発生した場合は、周辺に応じた消火剤を使用する。 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、泡消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤	:	特になし

6. 漏出時の措置

回収、中和	:	漏洩物をウエス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。 回収した漏洩物は、後で適正に廃棄処分する。
-------	---	--

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い		
技術的対策	:	本品をティッシュペーパーに吹き付け、1~2回刀身を拭うことにより、 手油・汗・酸等を除去できる。 処置後必ず、極上刀油をうすく塗ること。
安全取扱い注意事項	:	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱をしてはならない。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗う。
接触回避	:	湿気、水、高温体との接触を避ける。
保管		
技術的対策	:	使用するときは、容器をよく振ってから使用する。 容器開封後は、保管条件により本製品のファクターが変動することがあるのでなるべく早く使い切る。
保管条件	:	直射日光や高温高湿を避ける。なるべく乾燥した場所に保管する。 容器を密閉し、冷暗所に保管する。食料、飼料から離して保管する。
混触危険物質	:	特になし
容器梱包材料	:	ポリエチレン、ポリプロピレン等

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	:	設定されていない
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)		
日本産衛学会(2010年版)	:	設定されていない
ACGIH(2010年版)	:	設定されていない
設備対策	:	特になし
保護具	:	特になし
衛生対策	:	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	:	無色透明～やや白濁した液体
臭い	:	無臭
pH	:	アルカリ性
融点	:	約0℃
沸点	:	約100℃
引火点	:	不燃性
爆発範囲	:	爆発性なし
蒸気圧	:	データなし
蒸気密度(空気=1)	:	データなし
比重(密度)	:	データなし
溶解度	:	水に対し自由に混和する(溶ける)。
オクタノール/水分配係数	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性	:	特になし
避けるべき条件	:	日光、熱
混接危険物質	:	特になし
危険有害な分解生成物	:	酸化カルシウム

11. 有害性情報

〈本品のデータがないため、水酸化カルシウムと水の混合物としてGHS分類した。〉

急性毒性	:	経口、加算式の適用判定の結果、区分外とした。
皮膚腐食性・刺激性	:	加成式の適用判定の結果、区分外と分類した。
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	:	カットオフ値の適用判定の結果、区分外とした。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	:	カットオフ値の適用判定の結果、区分外とした。

参考〈水酸化カルシウムのデータ〉

急性毒性	:	経口	:	ラットのLD50値7340/kgに基づき、区分外とした。
		けい皮	:	データがないため分類できない。
		吸入(粉じん)	:	データがないため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	:	眼及び気道を含むすべての身体表面ばく露に対し中程度の刺激性を示すとの記述及びヒト皮膚に対して moderate, severe, corrosive な刺激を示すとの記述から区分2とした。		
		皮膚刺激(区分2)		
眼に対する重篤な損傷・刺激性	:	ヒト眼に対して moderate, severe, corrosive な刺激を示すとの記述及びウサギ		

に対してcorrosive な刺激を示すとの記述から区分1とした。
重篤な眼の損傷(区分1)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

	: 呼吸器感作性	: データなし	
		: 皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし		
		: 発がん性	: データなし
		: 生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	: ヒト呼吸器、気道を刺激し肺気腫を引き起こすとの記述から区分1(呼吸器系)とした。		
			呼吸器系の障害(区分1)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	: Priority 2 においてヒト肺を冒すことがあるとの記述から区分2(肺)とした。		
			長期又は反復ばく露による肺の障害のおそれ(区分2)
吸引性呼吸器有害性	: データなし		

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生物蓄積性	: データなし
土壤中の移動度	: データなし
オゾン層への有害性	: 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

参考《水酸化カルシウムのデータ》

水生環境急性有害性	: データ不足のため分類できない。
水生環境慢性有害性	: データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性	: 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 関連法規ならびに地方自治体の規準に従って廃棄する。 : 都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マヌフェスト)を交付して処理を委託する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 (参考)希釈廃棄法 大量の水と共に排水処理する。
汚染容器及び包装	: 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制(適用法令)	
陸上規制	: 特段の規制なし
海上規制	: 特段の規制なし
航空規制	: 特段の規制なし
国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
品名	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
特別の安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当
水質汚濁法	: 生活環境項目(施行令第三条第一項) 「水素イオン濃度」 〔排水基準〕・海域以外の公共用水域に排出されるもの 5.8以上 8.6以下 ・海域に排出されるもの 5.0以上 9.0以下 (注)排出基準に別途、条例等による上乘せ規程がある場合はそれに従うこと。

16. その他の情報

(注) 本品を刀の手油・汗 拭い液以外には使用しないで下さい。

参考文献

製品安全データシート	昭和化学株式会社 HP
化学物質管理促進法PRTR・MSDS対策物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対策物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM	
GHS分類結果データベース	nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全情報センター HP

注意事項

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いをされる場合は用法、用途に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。